

平成23年度 小学校「理科」実験・観察研修 実施要項

- 1 目的 教職経験年数の少ない教員に対し、実験や観察を中心とした理科の授業力向上を図る。
- 2 対象者 小学校での教職経験2年目及び3年目の教諭（各市町村1～2名ずつ）  
募集人数 80名
- 3 研修内容等

回	日時	研修内容	講師等
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	8月1日(月) 9:30～17:00	<b>風やゴムの働き</b> 風やゴムの働きを利用したものづくりや、「送風機」を利用した実験を中心に、教員自らが体験できる研修を行う。また、ものづくりや実験を通して子どもたちが主体的に学ぶことをねらいとした授業づくりのために、発問の工夫、場の設定の工夫についても協議する。 [講義・実習]	大阪府教育センター職員
		<b>物と重さ、水の三態変化</b> 「物と重さ」では、粘土、木片、金属などを用いて手応えなどで体感することや、てんびんを用いて数値化することで、実感できる教材・授業展開などを考える。「水の三態変化」では、温度の変化と体積変化・状態変化との関係や、水と水蒸気の違いについて、子どもたちが実感を伴って理解できるように指導法を探究する。 [講義・実習]	
	<b>光合成と消化の働き</b> 光合成によってできたデンプンを、ヒトがどのように消化しているのかを考える。また、授業構成の在り方についても協議する。 [講義・実習]		
	<b>天気と気温</b> 中学年で扱う地学・気象分野の「日なたと日陰」と「天気の様子」に関する教材開発について考える。 [講義・実習]		

※留意点

- ・ 2日間必ず受講すること。

4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区菟田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m  
 JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m  
 近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 担当室 理科教育研究室

- 6 その他
- (1) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
  - (2) 自家用自動車等で来所しないこと。
  - (3) 受付は30分前から。
  - (4) 印鑑を持参すること。